

高齢者施設・障がい者施設

# 新型コロナウイルス 感染対策事例集



## 基本的な取り組み

マスクの着用や消毒は、感染対策の基本です。取組事例を参考に、実践できそうなものから取り入れてみましょう。

### マスクの着用

#### ☑ 隙間なく着用する

**事例** 隙間がないか、職員同士で確認しています。



### 消毒

#### ☑ 適切な量の消毒液を使う

**事例** 消毒液の容器がポンプ式のものは下まで押し切り、適切な量で消毒しています。

#### ☑ よく触れる部分はこまめに消毒する

**事例** 手すりやドアノブなどの毎日触れる部分は、担当者を決めて確実に消毒を行うようにしています。

#### ☑ ポケット内の物に触れたら手指消毒する

**事例** 鍵やPHSは、職員同士で共有するため、感染をひろげる原因になります。ポケットに入れて持ち運ぶときは、取り出すたびに手指消毒をしています。



## 健康管理

### ☑ 出勤時の体温測定、健康観察を徹底する

#### 事例

休めないというプレッシャーから、体調不良を隠したまま勤務し、感染を広げる場合があります。管理者が責任をもって職員の健康を管理し、体調不良者は出勤させないようにしています。



入り口での検温・名簿による体調管理の様子

## 職員の配置

### ☑ グループごとに職員を配置する

#### 事例

感染が発生したときの接触者を最小限にするため、入所者を複数のグループに分けて担当職員を配置しています。



## 服装

### ☑ ユニフォーム通勤をしない

#### 事例

勤務先に感染源を持ち込まないように、私服で出勤し、職場でユニフォームに着替えるようにしています。

## 感染リスクが高い場面

食事や休憩室など、大人数が集まる空間では、感染のリスクが高まります。感染防止のための取組事例を紹介します。

### 利用者の食事

#### ✓ 向かい合わせにならないように座る

##### 事例

互い違いに座る、全員同じ方向を向くなど、向かい合わせにならないよう配置しています。また、席の位置を毎回同じにすることで、感染者が発生したときに、接触者を限定できるようにしています。

#### ✓ 横から食事介助をする

##### 事例

利用者がむせると、飛沫感染の危険があるため、正面ではなく横から食事介助をしています。



### 休憩室・更衣室の利用

#### ✓ 休憩室の利用人数を最小限にする

##### 事例

休憩室は少ない人数で利用できるように、休憩時間をずらしています。

#### ✓ 休憩室に入ったら窓を開けて換気する

##### 事例

休憩中は換気をして、窓の近くなど風通しがよい場所で昼食をとるようにしています。

#### ✓ マスクを外したまま会話しない

##### 事例

更衣室などに注意喚起のポスターを掲示しています。



## 感染発生に備えた事前準備

施設内で感染が発生した場合、急なシフト変更や衛生用品の確保といった対応に追われます。取組事例を参考に、日頃から準備しておきましょう。

### ガウンなどの衛生用品

#### ☑ 十分な衛生用品を備蓄する

##### 事例

感染が発生すると、ガウンなどの衛生用品が急に必要となります。日頃から在庫リストで不足しているものがないか確認しています。

##### 参考

感染発生時に主に使用するもの

- ☑ ガウン
- ☑ ニトリル手袋
- ☑ サージカルマスク
- ☑ ヘアキャップ
- ☑ フェイスシールド
- ☑ 消毒液

※必要に応じてN95マスクも備蓄する



#### ☑ ガウンなどの着脱ポスターを掲示する

##### 事例

ガウンなどの着脱手順ポスターを、日ごろから目につく場所に掲示しています。また、全身鏡を用意して、1人で確認しながら着脱できるようにしています。

### 職員の確保

#### ☑ 感染発生時の応援体制を法人内で話し合う

##### 事例

感染発生により職員が不足したときに、同じ法人の別事業所から速やかに応援ができるよう、事前に話し合っています。



